



市民フロンティア

CS 神戸は、**自立と共生**を目指し、より良い社会のために主体的に活動する人々をサポートするとともに、自らの活動を通じて、誰もが尊重され支えあう地域社会の実現をめざします。



2015 年 11 月 25 日発行 **通巻 77 号**



研修の様子（東部ブロック）



研修の様子（西部ブロック）



「居空間 RoCoCo」さんでの
実習の様子

『元気な高齢者を先頭に、暮らし続けられる神戸へ』

理事長 中村順子

介護保険制度の大改革が今年度から始まっています。技術を要する介護の領域はプロに特化し、生活支援は住民相互が支え合う地域支援事業に移行しようとするものです。身近な生活圏で介護や医療が届けられる「地域包括ケアシステム」の一環です。

CS 神戸ではこの改正をまちづくりにおける市民参画のチャンスと捉えて数年前から研究会を持ち、人財養成を中軸に、神戸市や神戸市社会福祉協議会、コープ神戸と共に事業をすすめています。

人財養成の対象は介護を受けていない元気高齢者です。神戸市における高齢者（65 歳以上）の動態をみると、介護保険が始まった 2000 年は高齢化率 16.9%で 252,000 人でしたが、2015 年には高齢化率 26.0%と上昇して 403,000 人となり約 15 万人増加しました。しかしこのうち約 8 割の方が介護サービスを受けず自立されている元気高齢者で、その人数は 33 万人にも及びます。近年では団塊世代（1947～1949 年生）がリタイアして急激に増加しています。これらの方を対象に、**神戸市生活支援・介護予防サポーター養成研修**を神戸市から受託し、今年度は、東部ブロック（東灘・灘・中央区）と西部ブロック（須磨・垂水・西区）あわせて約 120 名の研修の最中です。3 月までのフォローアップを通じて、地域活動の仲間にお迎えできるよう、小林リーダーを先頭に奮闘中です。

これらの地域支援事業を推進するため、市町村は生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）と生活協議体を設置し基盤を整えています。神戸市では、各区 1 名の生活支援コーディネーターと地域包括支援センター（中学校区）に 78 名の地域支え合い推進員が配置されました（社協所属）。区別の生活協議体の委員は地域団体や介護事業者・NPO 等 15～20 名程度で構成され、CS 神戸から東灘区では中村順子、垂水区では向山良子が参加しています。身近にありながら協働する機会の少なかった地域の団体がテーブルを囲み、支え合えるまちづくりに関して協議する新しい仕組みです。20 年前の大震災直後の自然な助け合いがやっと仕組みとなることで、特に NPO にとっては活動しやすい環境となると期待しています。

今回の人財養成では、修了後の登録や実際の活動にあたって、この協議体が修了生を共通の人財として、自治的な活動から居場所・食事・外出支援等のテーマ活動さらには新しいサービスのパートナーとして迎え入れることだと思います。

33 万人の元気高齢者が、自分貢献と地域貢献を日常生活に取り込み、最後まで生きがいを持って暮らし続けることのできる神戸のまちを創ることに、CS 神戸は全力を挙げて取り組みます。

プロジェクト密着レポート！

新企画

「生きがいごとサポートセンター神戸東（ワラビー）」
ってどんなところ？

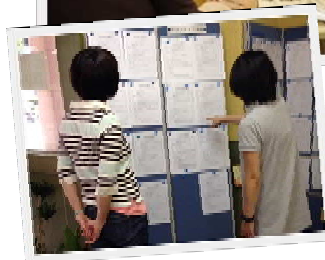
兵庫県の事業補助を受けて、就業・ボランティア／起業に関する相談およびサポート事業を無料で行っている「生きがいごとサポートセンター神戸東」（愛称：ワラビー）ですが、実際に何をしていた、どんなことができるのでしょうか？
事業内容や特色、知られざる苦悩など、スタッフにインタビューしました！

✓何をするとところなの？

ワラビーでは大きく分けて、『就業・ボランティア』と、『起業・運営』に関する相談およびサポートをおこなっています。

「自分らしい働き方がしたい」「社会に役立ちたい」といった思いをもたれる方や様々な課題を抱えられた方々の相談を受け、その方にあった求人またはボランティアを紹介します。

一方、「地域に貢献できるビジネス（CB）で起業したい」「NPO 法人を設立したい」といった相談に対し、起業の方法を紹介し、ビジネスプランを具体化する手助けをおこなったり、既存の NPO 法人や各種団体の運営改善に関する相談を受けて、課題解決にむけた助言をおこなっています。



✓誰が対応してくれるの？

スタッフが一人一人にじっくりと向き合い、相談者にとって最適な方法を導きだせるようにサポートします。

時間を要する起業の相談や、希望する内容の求人が見つからない場合でも、メールでの情報提供や近況確認をおこないながら長期的にサポートしています。



狩野仁未

『一緒に自分らしい“生きがいごと”探しを！』



村上義弘

『「常に最適の相談」を目指しています。』



山村弘美

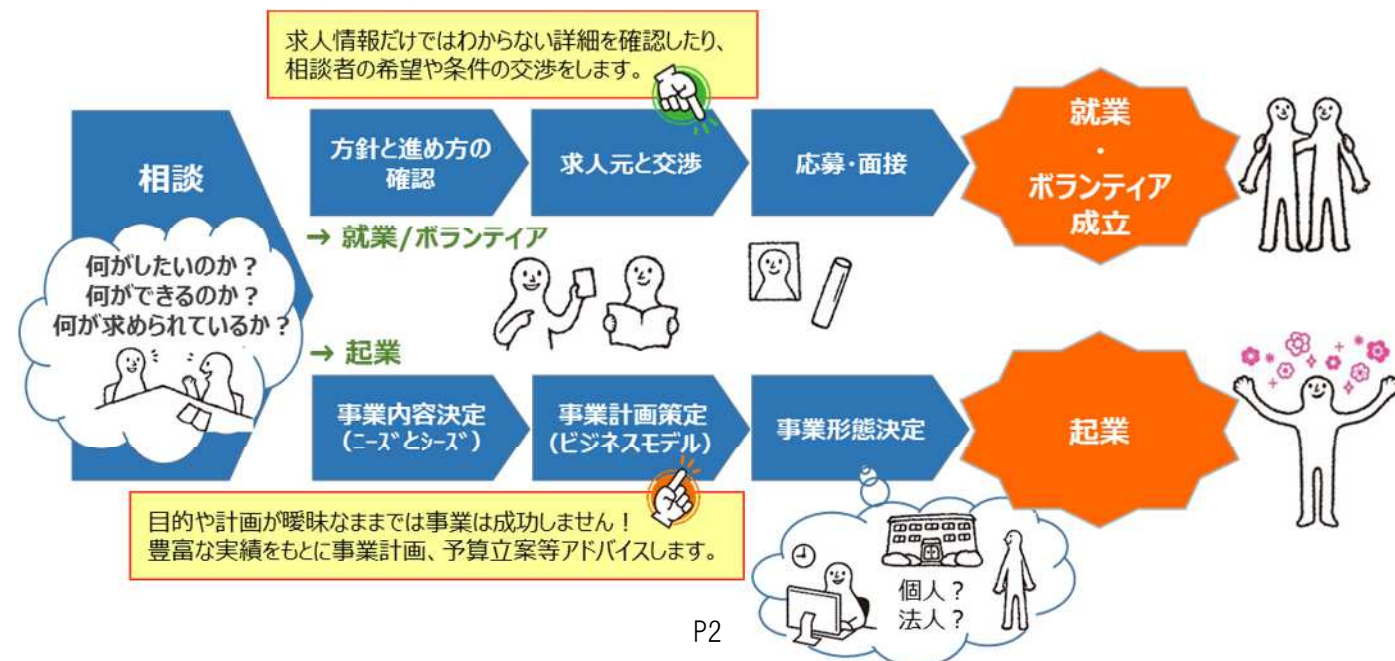
『皆さんのお役に立てるよう頑張ります！』



福岡由希子

『イキイキ人生を応援します！』

✓どんなプロセス（手順）で進めるの？



スタッフに聞く！“ワラビーのこだわり”



ハローワークとワラビーの相談はどこが違うのですか？

ハローワークは例えて言えばスーパーマーケット。多くの商品の中から自分で探してレジにもって行く、というのに対して、ワラビーは個人商店。やりたいこと、できること、条件等を、顔と顔を合わせて話をしながら明確にし、それに合った求人を見つける。その他、ボランティアや起業の仲間探しへのマッチングなど、多様な働き方に対応した相談を行っています。



起業相談の内容はどのようなものが多いですか？

気持ちはあるけれども、事業化への具体策が分からない、という相談が多いですね。ボランティア団体でいきたいのか、収入を見込める事業にしたいのか？また、やりたいことが優先されてしまい、社会のニーズが本当にあるかが把握できていないのでは？など、相談を通じて整理し、ビジネスモデルを考えていきます。



『各事業の詳細に関する相談やネットワークづくりでは、これまでの相談者さんに助けてもらうことも、よくあります。また、相談者のご家族などに「役に立てれば」と手伝ってもらえたり、求人情報を提供していただくケースも少なくありません。こういうつながりで支えられている事業が、「生きがいごとサポートセンター神戸東」（ワラビー）だと思います。』（狩野）



起業相談のあとの、開業の状況・傾向などはいかがですか？

2004年6月～2015年9月まで11年間に、約330団体が起業しました。うち NPO 法人がほぼ半数で最も多く、次いで一般社団法人と株式会社等の営利法人がそれぞれ20法人余、残りの3割が任意団体です。業種で多いのは、やはり福祉系ですね。法や制度改正の影響を受け、介護保険事業関連が多かった時代があり、その後、障がい者支援関連、介護予防系、児童デイサービスなど、順次移行してきています。ただ、業種・活動は多彩になってきています。新たな視点で開業する若者も増え、英語を学べる学童保育、ネットを活用したスペイン語会話スクール、デイサービス紹介サイトといった起業事例もあります。その他、スポーツや音楽関連、国際交流等々、多様化が最近の傾向でしょうか。



就業やボランティアの情報はどこで集めるのですか？

他の団体から豊富な求人・ボランティア募集を受け付けています。その中から相談者にあった求人を探すスタイルが基本ですが、日ごろの会話や普段の生活の中から、いろいろなところに求人やボランティアがほしい、というヒントがあるので、そういう潜在的な求人を形にしてマッチングすることもあります。

『コミュニティ・ビジネスの相談では、この5つに留意しています。』（村上）

1. 法人設立を目的としない。メリット、デメリットがある。手段と考えよう。
2. 「何のために起業するか」が大切。ミッション、地域ニーズ・課題を明確に。
3. 思いだけではだめ。ビジネスモデル（お金がどのように回るか）の設計を！
4. 「資本金」は不要でも「資本人」が不可欠。一人だけでは何もできない。仲間づくりが大切です。
5. ワラビーで100%の回答が得られるわけではない。一緒に考える場所です。



ダイジェストニュース

～ 動きのあるプロジェクトをピックアップしてご紹介！ ～

【市民活動支援部】

生きがいごととサポートセンター神戸東・・・コミュニティ・ビジネスの手法を取り入れた地域団体の視察バスツアーを 11/19 (木) に実施。コミュニティ喫茶や先進的な活動を展開するマンション管理組合におじゃましました。おいしい昼食付きでした♪

社会貢献塾・・・今年は受講生同士のケンカもなく(?)、31 名が無事修了。高齢者の生活支援や日本語ボランティアなどのべ 18 名が新たな活動をスタートされました。起業を目指す 5 名はアドバンスコースの「CB 実践講座」を継続して受講中です。

地域 CB 支援事業・・・11/12 (木) から相生市で連続講座がスタート。最大の地域ニーズは中山間地域の移送サービスのようです。

市民活動サポート基金・・・介護予防を目的とした「ひろばを活用した昼体操プロジェクト実行委員会」(20 万円) と、ママの孤立防止を目指すマクラブ事業「NPO 法人こども育ちわたし育ち Madrina」(20 万円) の 2 団体に交付しました。

介護サービス情報の外部評価・公表調査・・・高齢者の地域密着型事業所の調査事業、今年度は 20 を超える施設からご依頼いただけています。事業所の新しい特色をひとつでも多く聞き出すことを調査員のモットーにしています。

【地域活動事業部】

JR 住吉駅前駐輪場・・・一台でも多くの二輪車を収容できるよう、バイクコーナーのゾーニングを実施。利用者からも好評です。また来月には 5 つの障がい者作業所の皆さんにご協力いただく恒例の「秋の落ち葉一斉清掃」も予定しています。

東灘区民センター小ホール・・・区民が先生、区民が生徒の第 5 期「ひがしなだ区民カレッジ」が 10 月よりスタートしました。1/23 (土) には、おもちゃの交換とゲームを通じて楽しく防災を学べる「イザ！カエルキャラバン！」を実施します。ぜひ遊びにきてください。

まちづくりスポット神戸・・・11/14～15 にかけて「第 2 回ふれあいまつり」を開催。

まちスポ登録会員 3 8 団体の代表が実行委員会を立ち上げ、準備してきました。各団体のブースやステージイベント、Kids ボランティア体験隊などで盛り上がり、参加者のべ 4,871 名でした。

生きがい活動ステーション・・・昨年 6 月の開設以来、通りすがりの人々にキャッチセールスでアピールすること 1 年半、ついに来場者がのべ 1 万人を突破。“やりたいことを試せる”を提供する「トライやるサポート」の利用も 24 件になり、NPO のボランティアマッチングや団体立ち上げにつながっています。



会員・寄付

～ 応援いただき、ありがとうございます！ ～

(2015 年 6 月 16 日～11 月 7 日)

星野 裕志、安元 邦夫、宮下 隆二、保科 正彦、一般社団法人みんないっしょ、桑山 信子、直田 春夫、檜森 絹代、林 祐介、重政 和洋、津田 久雄、更谷 令治、角田 敏子、上野 恭男、定免 久美子、富田 妙子、中山 照彦、大草 美代子、弓削 一、大西 洋助、泉 勇策、子川 幹男、大野 利恵、カタオカネットワーク、長澤 マリ、伊谷 須美子、井上 雅晴、大西 佐知子、瀬戸口 延恵、日下 恵子、萩野 俊子、太美 京、池田 康二、NPO 法人ゆうネット、NPO 法人福祉ネットワーク西須磨だんらん、黄田 昭子、務川 悦孝、尼川 洋子、森田 正純、NPO 法人阪神パソコンネット、植戸 貴子、医療法人明倫会 宮地病院、木幡 幸雄、NPO 法人ジンジャークラブ、松元 隆平、高橋 度、畑中 進、進藤 啓子、光武 茂、NPO 法人わだち、與口 修、端 信行、(株) ロックフィールド、井上 隆文、樋口 晴男、岡田 雅幸、鈴木 明与、藤浦 剛、中村 大知、一般社団法人クルレ、NPO 法人いぶりたすけ愛、小林 るみ子、奥澤 實夫、山本 伸一、櫻井繁樹税理士事務所、広井 かほる、林 律子、大和 重里、NPO 法人すみよいくらしサポート、武藤 由美子、中村 保佑、垣口 哲朗、岸 千尋

【寄付】

更谷 令治、坪 光子、瀬戸口 延恵、榎本 まな、櫻井繁樹税理士事務所、NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会、中山 照彦、中村 順子、飛田 敦子



2015 年度の会費継続をお願いします 市民活動を共に支えてくださる賛助会員（個人・団体）の方々を募集しております。

【会費】

個人会費：3,000 円／年

団体会費：10,000 円／年

【振込先】

名義：特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸

郵便振替 00950-2-144205



認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS 神戸)

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 5-2-2 ビュータワー住吉館 104

TEL：078-841-0310／FAX：078-841-0312／E-MAIL：info@cskobe.com

2015 年 11 月 25 日発行 通巻 77 号

発行人：中村順子 編集人：長井明子

編集後記 師走の足音が近づいてきました。1 年があつという間！なのは、毎日充実してるから？それとも歳のせい？？ (N)